

令和4年度事業計画書 <白楽荘・医務室>

テーマ：非常災害（感染症・自然）の避難計画に基づき、安全・安心あるサービスの提供と
人材の確保に努める

～安心して働ける職場として利用者・職員双方への優しいケアの実現～

サブテーマ：職場環境改善に努め、多職種との連携・協働により安全で安心できる看護を提供する。

1. 安全で安心した生活を送れるよう健康管理を行う

- ①安定した看護が継続できるよう、災害や感染症発生時の研修やシミュレーションを行い、感染対策の周知・徹底を図るとともに、定期的な見直しを行う。
- ②多職種で情報共有・ケアの統一を図り、安全・安心な看護を提供し利用者の健康維持に努める。
- ③利用者・家族の思いを尊重し、早い段階で家族へ連絡、病状説明を行い安心に繋げる。

2. 個別機能訓練により、ADL や QOL 向上に努める

- ①ADL 状況や、日々の過ごし方を含め、アセスメント様式の見直しを行う。
- ②生活リハビリの視点から ADL 向上の可能性を探り、目標設定や訓練内容に反映する。

3. 働きやすく、魅力ある職場作り

- ①コミュニケーション力を高めることによりお互いを理解し、信頼関係を構築する。
- ②常に感謝や労いの言葉を掛け合い、お互いのモチベーションを高める。
- ③災害や感染症発生時、支障をきたすことがないよう情報を伝達し共有する。

4. 看取りケアの充実

- ①医療・生活の両面からアセスメントし、他職種連携により、その人らしい安らかな最期を迎えられるよう支援する。
- ②利用者・家族の思いを尊重し、安心できるよう声掛けを行う。
- ③看取りの状況や日々の変化などを家族に伝え、意向を確認し理解を得る。